

## 手術やブロック注射をせずに、脊柱管狭窄症、ヘルニア、すべり症、変形性股・膝関節症など 整形外科の痛み、しびれを根本から治療するAKA・博田法

医療法人社団 望クリニックス

### レントゲンやMRIに写る「異常」は痛みやしびれの原因ではないことが多い

なぜ、整形外科ではなかなか治らないのか？ 一番の問題はレントゲンやMRIに写る「異常」を痛みやしびれの原因と考えるためです。この「異常」とは、脊柱管の狭窄、椎間板ヘルニア、すべり症、軟骨のすり減りや関節の変形などのことです。



MRI上はそのままでも、痛みは治る。すべり症で脊柱管狭窄症の75歳女性。他院では手術をすすめられて来院。AKAを行い3回目です。痛みが消失、手術は不要となる。その後、再度MRIを撮ったがすべりや狭窄はそのまま。つまり、痛みの「本当の原因」はすべりや脊柱管の狭窄ではなく関節機能障害であった。この場合、MRIに写るすべりや狭窄は痛みの原因ではないため、手術をしても改善は見込めない。手術を決める前にAKAを受診する重要性を示す症例だった。

### 本当の原因は関節機能障害

あるTV番組で、「腰痛の原因はMRIに写るヘルニアではない」と説明され、大きな反響を呼びました。大病院の医師が手術が必要と判断したほどヘルニアが出ていても痛くない人がいる一方、出ているヘルニアを手術してもよくなる方が多く、狭小、すべり症、膝や股関節の変形、軟骨のすり減りなどの「異常」も、同様に痛みやしびれの原因でないことが少なくありません。

腰痛を例にすると、この番組では85%を占める原因不明のものはストレスで痛みを強く感じているためとしています。つまり大半が原因不明なのです。では、痛みやしびれの「本当の原因」は何か？ その答えを導く治療法が、AKA・博田法（以下、AKA）という関節内部の微細な動きの異常



変形性股関節症に対しAKAで治療後の写真。股関節の強い痛みで歩けず、手術も考えていた。AKAで治療後、痛みが軽減したため治療を継続。現在2カ月に1度のAKAで痛みも少なく日常生活を送れている。痛みの本当の原因はレントゲンに写る変形ではなく、関節機能障害であったと考えられる。このようにAKAにより手術をしないで済む例は多い。

### 手術が不要になるケースが多い

（これを関節機能障害という）を治療する手技療法です。レントゲンやMRIに写る「異常」や、ストレスが原因といわれた方をAKAで関節機能障害を治療すると、「異常」やストレスを治さなくても痛みやしびれの改善が期待できます。これにより関節機能障害が本当の原因と診断でき、AKAを続けることによりさらに改善が期待できるでしょう。

当院には脊柱管狭窄症やヘルニア、すべり症、変形性股・膝関節症などの整形外科で手術をすすめられた患者さんが多数来院されます。腰・下肢、股・膝関節、首、肩、手にいたるまで整形外科の痛みやしびれは病名やレントゲン、MRIに写る「異常」と関

### 高度な技術のAKAは熟練者に受診を

AKAは関節を軽く押す程度で、治療に痛みは伴いません。一見簡単に見えますが非常に高度な技術で、習熟は困難を極めます。当院は25年間（1986年1月～2011年12月実績）に初診で約3万症例の実績がありますが、未熟な技術では正確な診断ができず、かえって悪化することもあります。AKAは熟練者に受診するのがよいといえるでしょう。各疾患の詳細は当院のホームページをご参照ください。

#### DATA

医療法人社団

望クリニックス

〒171-0032 東京都豊島区雑司が谷2-4-1

TEL ●03-3986-7889

http://www.nozomi-clinic-japan.com

診療科目 ● 整形外科、リウマチ科  
リハビリテーション科

診療時間 ● 8:30～12:30 / 14:30～17:30

休診 ● 日・月・木午後 ※完全予約制

院長 住田憲是

東邦大学医学部客員講師 埼玉医科大学客員講師

※AKA・博田法は自由診療です。初診料11,025円。AKA療法は9,450円となっています  
企画・制作IKAアド TEL.03-5652-3327